


# 牛久市(うしくし)

	市章	〒 300-1292	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	〈住所〉牛久市中央三丁目15番地1 〈TEL〉029-873-2111 〈FAX〉 029-873-7510 〈HP〉http://www.city.ushiku.lg.jp 〈e-mail〉hisyo@city.ushiku.lg.jp	近郊整備	退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村金庫管理 滞納処分等 水道 下水道使用料徴収 し尿 消防 共同研修 火葬場・斎場 水防	法非適用(公共下水道 造 市場)	
類型	Ⅱ-3	地方公共団体コード	082198	面積	58.92 km <sup>2</sup>

## <行政組織>

### ①長等(令和元年5月1日現在)

長	ねもと ようじ 根本 洋治 (66歳)	任期	令和元年10月2日
		就任回数	1 期目
副市長	滝本 昌司		

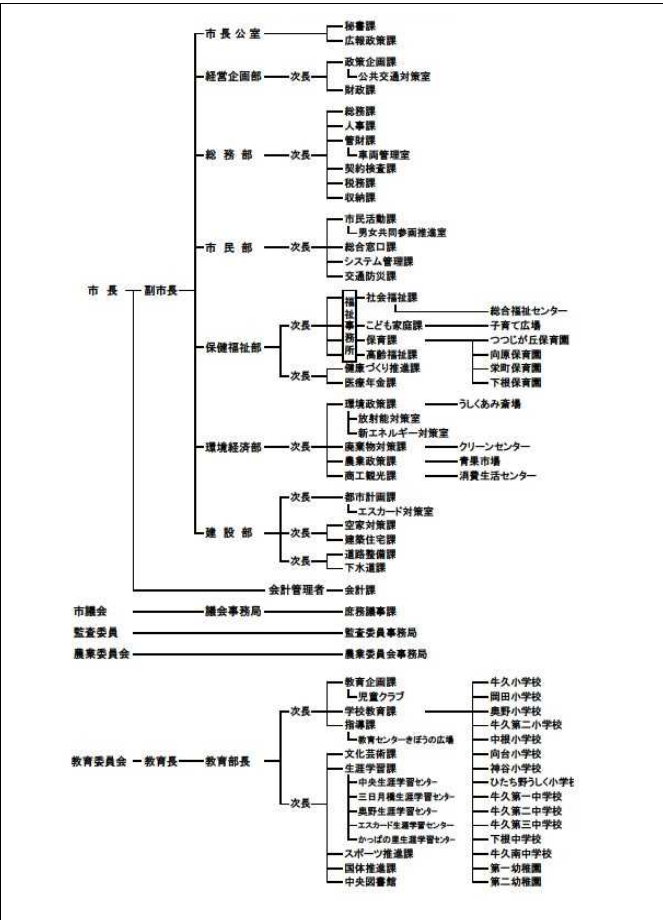
### ②議会(令和元年5月15日現在)

議長	石原 幸雄	副議長	藤田 尚美
任期	令和5年4月29日	条例定数	22 人
党派別	共産4人、公明3人、自民1人、維新1人、新社会1人、国民民主1人、無所属11人		
現議員数	22 人		

### ③職員数(平成30年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業会計関係		
	うち一般行政関係				
355	326	273	29		
一般行政職の平均給料月額	3,169 百円	ラスパイルズ指数	95.3	地域手当補正後ラス指数	95.3
全職員数の推移	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日		
	341	350	346		

### ④機構図(平成31年4月1日現在)



## <概要>

### ①沿革

昭和29年1月 牛久村が牛久町となる  
 昭和29年4月1日 牛久町と岡田村が合体  
 昭和30年2月10日 編入 奥野村  
 昭和32年7月1日 編入 阿見町大字福田の一部  
 昭和61年6月1日 市制施行

### ②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がりを持っており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローム層の稲敷台地によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成31年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	38,339	40,803	41,672	41,784
	女	38,884	40,881	42,645	42,912
	合計	77,223	81,684	84,317	84,696
世帯数	27,917	31,569	33,223	34,189	

### ④有権者数(平成31年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	34,713	35,695	70,408	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成27年度)

市町村内総生産	2,771 億円	住民所得	2,461 億円
		人口1人当り住民所得	2,919 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成27年度)		就業人口(平成27年国調)	
第1次	1,962	0.7 %	726	1.9 %
第2次	91,900	33.2 %	9,465	25.3 %
第3次	181,342	65.4 %	27,231	72.8 %
総額・総数	277,118	—	39,112	—

### ③農業・工業・商業

農業 (平成27年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	688	126	627
製造業 (平成28年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H27.1.1~12.31)
	67	4,170	241,781
卸・小売業 (平成28年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
	502	4,996	116,073

### ④特産物

落花生、大根、すいか、白菜、さつま芋、小菊

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成28年度決算	平成29年度決算	増減率
歳入	26,665,091	27,689,737	3.8
歳出	25,614,985	26,514,961	3.5
形式収支	1,050,106	1,174,776	-
実質収支	874,419	1,083,322	-
単年度収支	△ 248,872	208,903	-
実質単年度収支	25,891	948,165	-

②主な歳入・歳出(平成29年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	27,690	-	1,025	3.8
地方税	12,025	43.4	126	1.1
地方交付税	1,735	6.3	38	2.2
国庫支出金	4,226	15.3	562	15.3
地方債	2,908	10.5	1,044	56.0
うち臨財債	1,263	4.6	160	14.5
その他	6,796	24.5	△ 745	△ 9.9
うち繰入金	134	0.5	△ 298	△ 69.0
<b>歳出</b>	26,515	-	900	3.5
義務的経費	12,634	47.7	436	3.6
人件費	4,230	16.0	5	0.1
扶助費	6,419	24.2	382	6.3
公債費	1,985	7.5	49	2.5
投資的経費	3,558	13.4	897	33.7
普通建設事業費	3,558	13.4	897	33.7
うち補助	2,075	7.8	1,074	107.3
うち単独	1,482	5.6	△ 178	△ 10.7
その他の経費	10,323	38.9	△ 433	△ 4.0
うち繰出金	2,405	9.1	△ 235	△ 8.9

③主要指標(平成29年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.74)
連結実質赤字比率	- % (17.74)
実質公債費比率	2.1 % (25.0) [6.8]
将来負担比率	- % (350.0) [37.0]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成30年度)	0.875	[0.702]
経常収支比率	91.8 %	[90.3]
標準財政規模(平成30年度)	15,715 百万円	[15,229]
地方債現在高(A)	23,565 百万円	[25,274]
債務負担行為支出予定額(B)	4,592 百万円	[5,537]
積立金現在高(C)	5,349 百万円	[7,450]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	22,808 百万円	[23,361]

※1 ( )は早期健全化基準、[ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成29年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	5,480,790 ( 43.2 )	5,173,468 ( 43.0 )	94.4 [96.0]
市町村民税・法人 (構成比)	500,646 ( 3.9 )	487,895 ( 4.1 )	97.5 [98.6]
固定資産税 (構成比)	5,187,732 ( 40.9 )	4,903,813 ( 40.8 )	94.5 [95.6]
市町村税合計 (国保除く)	12,691,398	12,025,257	94.8 [96.2]

＜公共施設整備状況＞(平成29年度) ※1は平成30年度

小学校 ※1	8 校	プール	2 か所
中学校 ※1	6 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	6 園	老人福祉施設	42 か所
保育所 ※1	16 か所	病院・一般診療所	60 か所
認定こども園 ※1	1 園	道路改良率	58.5 %
図書館	1 か所	道路舗装率	68.8 %
公営住宅	308 戸	上水道等普及率	92.9 %
公民館等	7 か所	汚水処理普及率	93.5 %
体育館	1 か所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
清掃工場の延命化	H27 ～ R1	老朽化した清掃工場延命化・長寿命化のため、基幹的設備の改良を行う。	2,105
都市計画を適正に管理する(宅地開発調査)	H30 ～ R3	北部地域に宅地開発するための手法を検討する。	463
ひたち野うしく中学校を建設する	H28 ～ R1	ひたち野地区の生徒数増加に対応するため、新中学校を建設する。	4,620
中央生涯学習センターの施設を改修する	R1 ～ R5	築30年が経過した中央生涯センター文化ホールを大規模改修する。	1,092
国民体育大会を開催する	R1	令和元年9月28日から10月8日までの11日間、「いきいき茨城ゆめ国体」が開催され、牛久市では空手道競技と軟式野球競技を行う。	160

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p>＜主要課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子超高齢化社会の進展に伴う税収減・扶助費の増に対応した財政運営</li> <li>・空き家・バンク等により世代循環が可能な地域づくり</li> <li>・雨水対策事業の推進</li> <li>・清掃工場設備の改修</li> <li>・牛久駅周辺地区の活性化</li> <li>・市道23号線(城中・田宮線)の整備</li> <li>・国民体育大会の開催</li> </ul> <p>＜特色ある行政＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療福祉費支給制度の対象者を高校生まで拡充</li> <li>・特定健診・基本健診・がん検診費用の一部助成</li> <li>・歯周病予防、口腔機能向上の取組</li> <li>・宿泊・通所型に加え訪問型産後ケアの実施</li> <li>・支援の必要な親子へ、ペアレントトレーニングの実施</li> <li>・市内民間保育園の保育士に対する処遇改善を単独で実施</li> <li>・健康チャレンジへのポイント制導入</li> <li>・放課後・土曜カサバ塾の運営</li> <li>・小中学校へのタブレット型パソコン及び電子黒板等の導入</li> <li>・登下校時の安全確保のため、小学生へのヘルメット配布</li> </ul>
--